

### 沼田西小学校の自慢

沼田西小学校は、自然に囲まれていて、とても静かな場所にある学校です。ぼくが考える沼田西小学校の自慢は「エイト」のあいさつと全校合唱です。

「エイト」のあいさつとは、笑顔で、いつも、止まってあいさつをすることです。この「エイト」のあいさつは、今年の4月、校長先生の話から始まりました。今ぼくたちは、この「エイト」をしつかり意識してあいさつをしています。学校に来られるお客様からよく、「沼田西小学校のみなさんは、元気な声でしつかりとあいさつをしていますね」とほめられます。「エイト」のあいさつをすると、自分自身も、言われた人たちもみんなが気持ちよくなるのだということを実感しています。

もう一つの自慢は、全校合唱です。沼田西小学校は全校で、66人と人数は少ないですが、この少ない人数でも、高音と低音がしつかりと声を出し、笑顔で歌っています。ぼくたちはこの夏、生涯学習フェスティバルの出場に向けて、オーディションを受けました。「心の中にぎらめいて」「気球に乗ってどこまでも」の2曲を歌いました。オーディションを受けるまで、朝会や各クラスで練習をしてきました。なかなか声がひびかず、苦労しました。まずは高学年が声をひびかせていかないといけないけれど、なかなかそれができませんでした。発声練習をしたり、何度も何度もくり返して練習をしたりしました。結果は合格にはなりませんでしたが、オーディション当日は、今までで一番みんなの心が一つになり、ぼくたちの精一杯の歌声を届けることができたと思います。

ぼくは、これからも自信をもって、沼田西小の自慢と言えるように、残りの時間を過ごしていきたいと思います。また、後はいにもしつかり受けついでいきます。



# わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します  
— 連載第24回 —

### ありがとう、北方小学校

ぼく達が通う北方小学校は、今年度で閉校になります。来年度からは、北方小・南方小・船木小の3校が統合され、本郷西小学校となります。

これまで、ぼく達が毎年行ってきた行事は、全て最後になります。また、今年初めての行事は、北方小での最初で最後になります。例えば、11月に行われた学習発表会がそうです。今年は、最後の発表会ということもあって、ほとんどの発表が全校児童27人での発表でした。合唱や合奏、劇に全校で一斉懸命取り組みました。今年は、感謝を伝えるスライドショーもあり、お母さんやお父さんに感謝の気持ちを伝えました。たくさんの方が涙を流しておられたと聞きました。感謝の気持ちが伝わり、うれしく思いました。

春の運動会では、組体操を全校児童で行いました。低学年も一緒に重ねました。新しい技にもチャレンジしました。本番では、見事に披露することができました。

そして、統合する3校合同でのしめ縄作りは、北方小学校の最初で最後の行事になりました。教えてくださったおじいさんやおばあさんのおかげで、参加した全員がきれいなしめ縄を作ることができました。この行事は、忘れられない思い出になりました。

ぼくは、最後の卒業生の1人です。142年もの歴史がある北方小学校が閉校してなくなってしまうのは、とても悲しいです。

これからの行事を大切に作り組んで、北方小学校での思い出を作っていきます。

「ありがとう。北方小学校。」

